



# 関東中央病院 Memories 思い出のアルバム No.1

このシリーズは、平成5年（1993年）1月から、「緑のひろば」で12回にわたって連載された記事の再掲載です。

今月から関東中央病院の思い出のアルバムを掲載いたします。  
今回第1回は病院が建設される前の敷地の写真です。



昭和27年 建設予定地



昭和27年の敷地北東角



平成5年の病院全景（競走馬理化学研究所屋上から）  
※現在はマンションになっています。

関東中央病院（開設当初は世田谷三楽病院）が産声を上げたのは、今を遡ること39年前<sup>※</sup>でした。お茶の水にある三楽病院（都教職員の病院）では、当時、結核患者の増加や治療充実のため分院や療養所の設置を計画していました。その時の教育長であり教職員互助会理事長が中心となって、当地と八王子の某所を視察、検討したようです。もしかしたら、関東中央病院は東京都八王子市に誕生していたかも知れないのです。

※昭和28年

当地は都有地で、渋谷にある第一商業高校の農耕地として使用されていましたが、管理は教育長に委ねられていました。農耕地といっても写真のとおり草むらでした。現職のある医師は医学生であった頃、馬事公苑から馬に乗ってやってきて、当地や近所の畑を縦横無尽に走り回って、勉学のストレスを発散したそうです。（緑のひろば 平成5年1月号）



平成5年の敷地北東角



整地工事中の敷地